

# 平成13年度 施策別取組方向

部局名：生活部

施策番号	施策名			
553	みえ歴史街道構想の推進			
<p>【2010年度の目標】 歴史街道を活用して地域の自然や歴史、文化、景観の継承、再生を進めることで、魅力ある地域づくりが進み、地域の人びとが住むことに誇りと愛着を持つとともに、県内外の人びととの交流が活発になっています。</p>				
項目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標	2010年度の目標
(みえ歴史街道構想の) 推進計画の策定と積極的な事業実施	-	伊賀地域で策定組織整備(東紀州2圏域は策定済み)	おおむね各生活創造圏で推進計画の策定に着手しています。	概ね各生活創造圏で推進計画を策定するとともに、先導的地域においては基盤事業を完了し、また、その他の地域でも積極的な事業が展開されています。

## 1 平成11年度取組

### (1) 平成11年度取組概要とその成果

みえ歴史街道構想の事業展開を具体化するため、紀北・紀南を除く7生活創造圏で地域別整備計画策定に向けた推進組織の設立に取り組んだが、伊賀生活創造圏で平成11年12月に「みえ歴史街道構想伊賀地域推進計画策定協議会」が設立されるに止まった。

街道構想を促進するため、11年度から「市町村イベント支援事業補助金」の中に「みえ歴史街道構想推進支援事業補助金」を新設し、民間団体、市町村等が行うウオーケラリーなどのイベントやサイン整備などを支援することとした。

平成11年度においては、13件(補助金 11,096千円)の活用があり、各地域で自主的な取り組みが図られた。

### (2) 平成11年度取組に対する問題点

各生活創造圏で、県民局が中心となり地域の住民、企業、NPO、民間団体、市町村等と調整を図ってきたが、「生活創造圏ビジョン」の策定メンバーと重複するなど、ビジョンの策定状況と整合を取りながら進める必要があったため、推進組織の設立が遅れた。

## 2 平成12年度取組と成果見込み

伊賀生活創造圏以外の6生活創造圏においては、地域別整備計画の策定に向けた推進組織が未設立となっているため、平成12年度中に6生活創造圏の全てにおいて推進組織が設立され、地域別整備計画の策定に着手できるよう取り組む。

さらに、鈴鹿・亀山生活創造圏で取り込まれる地域の歴史に詳しい人や様々な技術・知識を持った人(博人)のネットワークづくりを支援する。

## 3 平成13年度以降に向けての取組方向

平成13年度には、各生活創造圏で地域の特性を活かした推進計画が策定(四日市、南勢志摩の生活創造圏は14年度中に策定完了予定)され、その計画に基づいたさまざまな事業が展開される。この取り組みについては、各地域の特色を活かし住民、NPO、民間団体、市町村など地域の方々の主導で推進されることが大切であり、県は、このような取り組みに対し、市町村イベント支援事業補助金や庁内の関連する既存の制度の活用などにより支援していくものとする。また、事業推進に伴って必要な情報の提供や計画推進組織の維持・運営についても支援を行っていく。

さらに、平成13年度に東海道宿場・伝馬制度400周年を迎えることから、北勢県民局では記念事業を計画しているところであり、東海道ルネッサンスを所管する県土整備部と連携を図りながら取り組む。